

築城時の福山城配置図 を取入れ約1mの段差をつけ東 側の外提へと導き城下町の飲み 印は神辺城からなり 水とする。(現代の水源地に相当) **多元** 図 【櫓の名称】 本 丸(①天守閣②附櫓③天守曲輪正門④鏡櫓⑤月見櫓⑥お湯殿⑦多門 ⑧筋鉄御門 ⑨伏見櫓 ⑩火打櫓 ⑪鐘櫓 ⑫人質櫓 ⑬ 荒布櫓 ⑭棗木門 (5)二階櫓 (6)塩櫓 (D)玉櫓) 二之丸(18東上り循環御門19東山三階櫓20鉄御門20鉄砲櫓20鑓櫓20櫛形櫓 ❷神辺一番櫓 ②西坂口御門 ❷神辺二番櫓 ❷神辺三番櫓 図水ノ手御 門 ②神辺四番櫓 ③ 乾櫓 ③鬼門櫓 ③御台所門 ③鹿尾菜櫓) 三の丸(幼北御門 幼涼櫓 幼東御門 幼二階櫓 幼舟櫓 幼追手御門 柳西御門) 「※ 南北時代から歴史有る神辺城から14の櫓と多くの屋敷が移築されています」

常興寺山(じょうこうじやま)

月見櫓

伝承 [編集]

雅称 [編集]

福山城の正式な名称は**鉄覆山朱雀院久松城**(てつおうざんすざくいんひさまつじょう)であり略して久松城であるとされる。「鉄覆山」の由来は天守の背面が鉄板で覆われていたことから、または敵を覆滅するという意味が込められたとされる。「朱雀」は南方を司る四神で福山城が備後国の南部に位置し南面していることから、「久松」は松寿長久の意が込められたとされる^[51]。ただし、この名称は江戸時代の文献には全く認められず近代になって創作された可能性が高いようである。なお、芦田川の北に位置したことから(水の北を陽というため)**葦陽城**とも呼ばれるが、これは江戸時代後期の詩が初見であり、後世に名付けられたものである。

松寿長久(しょうじゅ ちょうきゅう)

福山城 (備後国)

ページ ノート

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

福山城(ふくやまじょう)は、広島県福山市丸之内1丁目にあった日本の城で、城跡は国の史跡に指定されている。 久松城(ひさまつじょう)、 葦陽城(いようじょう)とも呼ばれる。日本における近世城郭円熟期の代表的な遺構であり、2006年2月13日、日本100名城に選定された。2018年7月30日には福山城跡の天守閣部分に対し、広島県内では初の事例となる景観重要建造物の指定がされた[1]。2020年から2022年にかけ、築城400年を記念した大規模な改修工事が行われた[2]。

葦陽とは

福山駅北側に位置する福山城は「葦陽城」とも呼ばれています。

一説では**葦**田川(芦田川)の北側にあり、小高い陽のあたる山の南側に位置していたところから付いたとも言われ、また文人たちが雅名として使い始めたとも言われています。

同じ名前では「県立福山葦陽高等学校」があります。

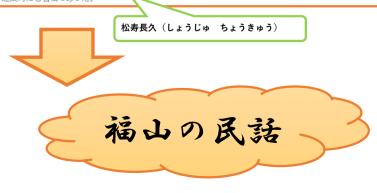
雅名(がめい) 風流な呼び方 雅号(がごう) あだ名

グ 鎮衛(ちんえ・ちんえい) しずめる

三、西国の鎮衛福山城

元和八(1622)年八月十五日、勝成は正式に入城し城号を「鉄潭山朱雀院久松城」と命名している。そして、八月二十八日をもって最後の完成報告を勝成自身出府して将軍に報告したのである。鉄潭山は天守閣の背面を鉄板で覆って搦め手の防御としたのでこの名をつけたともいわれるが、敵を追う「敵追山」の意味を込めたものであった。敵が幾万押寄せようとも追い払うという意味である。また、山号の「朱雀院」は、中国の四神思想で南を守護する想像上の鳥であり、南に向いた城郭を意味する。最後の「久松城」は、松寿長久の意をこめて、城の武運長久を祈って名づけられたものとされている。

天守閣は、江戸時代城郭建築では戦国以来 建てられた最後の最も完成された姿で、優美で均整のとれた姿は武備一辺到のものでなく建築的にも名城であった。





福山藩・水野家 5代(1619年~1698年)・・79年

		当	藩主在任	没年			
初代	みずの 水野	かつなり 勝成	みずの	かつなり	20年3ケ月	88歳	1619年~
二代	_{みずの} 水野	^{かつとし} 勝俊	みずの	かつとし	15年9ケ月	58歳	
三代	_{みずの} 水野	_{かつさだ} 勝貞	みずの	かつさだ	7年6ケ月	38歳	38歳で病死
四代	_{みずの} 水野	かつたね 勝種	みずの	かつたね	34年6ケ月	37歳	3歳で家督を継ぐ 37歳病死
五代	_{みずの} 水野	かつみね 勝岑	みずの	かつみね	6ケ月	1歳5ケ月	~1698年

水野家改易 お家断絶

三代官時代(1698年・1699年)水野家改易により幕府領(天領2年間)となる

福山藩・松平家(1700年~1710年)・・10年

<u> </u>	主	藩主在任	没年		
まっだいらただま 松平 忠雅	まつだいら	ただまさ	11年	64歳	1700年~ 1710年

福山	藩・阿	部家 1	10代	(1710年~	~1869年)	・・158年間	明治2年ま
		当	主		藩主在任	没年	
初代	あべ阿部	_{まさくに} 正邦	あべ	まさくに	5年5ヶ月	58歳	1710年~
二代	あべ	まさまし 正福	あべ	まさよし	33年8ケ月	70歳	
三代	あべ	まざけ 正右	あべ	まさすけ	20年9ケ月	47歳	老中
四代	あべ阿部	まさとも 正倫	あべ	まさとも	34年2ケ月	60歳	老中
五代	あべ	_{まさきよ} 正精	あべ	まさきよ	22年9ケ月	53歳	老中
六代	あべ阿部	まがす 正寧	あべ	まさやす	10年9ケ月	62歳	
七代	ぁべ 阿部	^{まさひろ} 正弘	あべ	まさひろ	20年6ケ月	39歳	老中首座
八代	あべ阿部	_{まさのり} 正教	あべ	まさのり	3年2ケ月	23歳	
九代	ぁべ 阿部	_{まさかた} 正方	あべ	まさかた	7年1ケ月	20歳	
十代	_{あべ} 阿部	まさたけ 正桓	あべ	まさたけ	1年	64歳 (大正3年)	~1869 (明治2年)

・ペリー来航

- ・開港日米和親の条約を結ぶ
- ・藩校 誠之館(高校)を作る
 - ・大政奉還(慶応3年)
 - ・戊辰戦争
 - ・福山戦争(慶応4年)
 - ・箱館戦争への出兵(明治元年)

明治2年6月・版籍奉還 福山藩知事になる (現在の県知事)

幕末の領地「編集」

- 備後国
 - 深津郡 29村(全域)
 - 沼隈郡 43村(全域)
 - 芦田郡 28村(全域)
 - 品治郡 21村(全域)
 - 安那郡のうち 27村 (大部分・残部は中津藩領)
 - 神石郡のうち 15村
- 備中国
 - 川上郡のうち 2村

上記のほか、明治維新後に釧路国足寄郡、白糠郡、阿寒郡を管轄した。



近世以降の沿革 [編集]

深津郡【現在の福山市中心部、城・駅周辺】

• 明治初年時点では全域が備後福山藩領であった。「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での村は以下の通り。(1町 31村)

福山城下^[1]、木之端村、坪生村、野々浜村、津之下村、大門村、能島村、吉田村、浦上村、宇山村、市村、深津村、引野村、手城村、一番新涯村、三番新涯村、三番新涯村、多治米村、川口村、野上村、本庄村^[2]、三吉村、吉津村、奈良津村、木之庄村^[3]、坂田村、敷路村、千田村、中津原村、森脇村、上岩成村、下岩成村

- 明治4年
 - ◆7月14日(1871年8月29日) 廃藩置県により福山県の管轄となる。

近世以降の沿革 [編集]

沼隈郡

• 明治初年時点では全域が備後福山藩領であった。「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での村は以下の通り。(1町 42村)

神島村、佐波村、津之郷村、山手村、郷分村、長和村、地頭分村、下山田村、山北村、早戸村、加屋村、赤坂村、神村、本郷村、東村、西村、高須村、山波村、今津村、松永村、藁江村、柳津村、金見村、藤江村、浦崎村、下山南村、内常石村、外常石村、百島村、横島村、田島村、草深村、能登原村、中山南村、上山南村、上山田村、中山田村、草戸村、水呑村、田尻村、走島村、後地村、鞆町

- 明治4年
 - ◆7月14日(1871年8月29日) 廃藩置県により福山県の管轄となる。

芦田郡【現在の府中周辺】

近世以降の沿革 [編集]

• 明治初年時点では全域が備後福山藩領であった。「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での村は以下の通り。(28 村)

福田村、下有地村、相方村、上有地村、柞磨村、土生村、栗柄村、府川村、高木村、中須村、広谷村、町村、荒谷村、本山村、府中市村、出口村、目崎村、上山村、父石村、河面村、阿字村、久佐村、行縢村、木之山村、桑木村、金丸村、常村、藤尾村

- 明治4年
 - 7月14日(1871年8月29日) 廃藩置県により福山県の管轄となる。

品治郡(ほんじぐん)【現在の新市・駅家・万能倉周辺】

近世以降の沿革 [編集]

• 明治初年時点では全域が備後福山藩領であった。「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での村は以下の通り。(21 村)

下山守村、今岡村、上山守村、大橋村、坊寺村、向永谷村、江良村、近田村、戸手村、新市村、宮内村、下安井村、上安井村、新山村、雨木村、助元村、服部本郷村、服部永谷村、中島村、倉光村、万能倉村

- 明治4年
 - ◆7月14日(1871年8月29日) 廃藩置県により福山県の管轄となる。

近世以降の沿革 [編集]

安那郡(やすなぐん)【現在の神辺・加茂周辺】

• 「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での支配は以下の通り。(29村)

知行		村数	村名
藩領	備後福山藩	27 村	上竹田村、下竹田村、八尋村、上御領村、下御領村、湯野村、平野村、川北村、川南村、徳田村、十三軒屋村、十九軒屋村、道上村、八軒屋村、中野村、上加茂村、西中条村、箱田村、東中条村、三谷村、粟根村、芦原村、下加茂村、東法成寺村、西法成寺村、山野村、矢川村
	豊前中津藩	2村	百谷村、北山村

• 明治4年

7月14日(1871年8月29日) - 廃藩置県により福山県、中津県の管轄となる。

西中条村・箱田村は 水野家断絶〜約150年・・天領

阿部正弘時代に福山藩に戻る。

■ A 省 📮 🔭 🕸

神石郡

近世以降の沿革 [編集]

• 「旧高旧領取調帳」に記載されている明治初年時点での支配は以下の通り。幕府領は倉敷代官所が管轄。(38村)

知行		村数	村名			
幕府領	幕府領	1村	古川村			
	備後福山藩	15 村	時安村、坂瀬川村、亀石村、大矢村、井関村、近田村、花済村、上野村、李村、上豊松村、 中平村、東有木村、西有木村、小野村、笹尾村			
藩領	豊前中津藩	22 村	安田村、西油木村、東油木村、下豊松村、新免村、三坂村、永野村、草木村、阿下村、光信村、小畠村 ^[1] 、常光村、光末村、父木野村、上村、高蓋村、木津和村、田頭村、福永村、牧村、高光村、相渡村			

- 慶応4年5月16日 (1868年7月5日) 幕府領が**倉敷県**の管轄となる。
- 明治4年
 - ◆7月14日(1871年8月29日) 廃藩置県により、藩領が福山県、中津県の管轄となる。
 - 11月15日(1871年12月26日) 第1次府県統合により、全域が深津県の管轄となる。

備中川上郡

		•	
知行 村数		村数	村名
幕府領	大森代官所	13 村	東組 $^{[1]}$ 、西組 $^{[1]}$ 、中組 $^{[1]}$ 、西元組 $^{[1]}$ 、元組 $^{[1]}$ 、長谷組 $^{[1]}$ 、西組 $^{[2]}$ 、東組 $^{[2]}$ 、西組 $^{[3]}$ 、 東組 $^{[3]}$ 、布寄村、西山村、坂本村
	倉敷代官所	6村	小泉村、塩田村、吹屋村、本郷組[4]、小野路組[4]、大野路組[4]
	旗本領(交代寄合山崎氏)	20 村	●成羽村、福地村、原田村、下日名村、上日名村、水名村、増原村、上黒忠村、下黒忠村、三沢村、上大竹村、下大竹村、布瀬村、臘数村、佐々木村、羽根村、羽山村、下原村、大原村、福松新開
	旗本領(その他)	13 村	布賀村、 <mark>高山市村</mark> 、相坂村、長屋村、長地村、七地村、高山村、二ヶ村 ^[5] 、佐屋村、九名村、大津寄村、黒萩村、下切村
藩領	備中松山藩		春木村、西野々村、割出村、宇治村、丸山村、飯部村、玉村、阿部村、近似村、川乱村、神 原村、田井村
	備後福山藩	1村	領家村
幕府領・ 藩領	旗本領(その 他)・福山藩	1村	地頭村
· -			■ A 🖞 📮 🔭 🕸

- 慶応4年
 - 5月16日 (1868年7月5日) 幕府領が**倉敷県**の管轄となる。

福山の民話

久松城の人枝

人植お系 (服部大池)

水野勝成と人種

版籍奉還は、大名が持っている土地と人民の支配権を、天皇に返上させる 政策です。版籍奉還の「版」は「版図(はんと)」、「籍」は「戸籍」の ことです。版図は領土や勢力範囲を意味する言葉で、大名が治める土地を 表します。「大政(たいせい)奉還」によって、政権が徳川家から朝廷に 返された後も、藩の体制はそのままで、土地や人民の支配権は大名にあり ました。

大政奉還とは? 大政奉還とは、江戸時代末期 (慶応3年)に15代将軍の徳川慶喜が朝廷・明治 天皇に政治をする権限をお返しした出来事で す。 大政奉還の大政とは『政治を行う権限』、 奉還とは『お返しするということ』という意味で す。

版籍奉還

[はんせきほうかん] 🜒

定義

1869年(明治2)諸藩主が領地と人民を朝廷に返還した藩解体政策の第一歩。木戸孝允・大久保利通らの画策により,まず薩長士肥の四藩主が奉還し,他藩もこれにならった。政府は全国の支配権をその手におさめ,藩主を知藩事に任命,以後,廃藩置県など中央集権化を推進した。

大政奉還

[たいせいほうかん] **◆**)

定義

1867年11月9日(慶応3年10月14日),徳川一五代将軍慶喜が政権を朝廷に返上することを申し出、翌日朝廷がそれを許可したこと。公武合体派の前土佐藩主山内豊信の建白によるが、討幕の名義を失ったかに見えた討幕派は同日討幕の密勅を得て、以後王政復古のクーデターによって慶喜の辞官納地を決し、鳥羽・伏見の戦いを経て戊辰ばしん戦争へと発展させた。